

6月22日：出来高の減少とともにまちまちの動き

昨日は出来高の減少とともにまちまちの動きとなり、ホーチミン市場は下落したが、ハノイ市場は上昇した。

ホーチミン取引所では、VN 指数は 0.27% 下落し 1,169.27 ポイントで引けた。4 日続落となり、この間の下げ幅は 5.5% に達した。

市場の勢いは強気で、上昇が 300 銘柄、下落が 196 銘柄、変わらずが 68 銘柄だった。125 銘柄がストップ高、また 55 銘柄がストップ安を付けるなど、動きにはばらつきが見られた。

小売、IT、漁業、公益など直近で堅調だった銘柄は利食い売りに押され下落したが、鉄鋼、銀行、証券などは買われた。

PV ガス (GAS)、PV パワー (POW)、FPT、モバイルワールド (MWG) などの大型株や、パンガシウス輸出大手の Binh Hoan (VHC)、Nam Viet (ANV) などが 5~7% 下落した。

VN 指数の上昇に寄与した 10 銘柄のうち 8 銘柄が銀行、1 銘柄が証券、1 銘柄は鉄鋼となった。テックコムバンク (TCB) が 5.5% 上昇し、ミリタリーバンク (MBB)、ホアファット (HPG)、VIB バンク (VIB)、ベッティンバンク (CTG)、サコムバンク (STB)、アジアコマーシャルバンク (ACB)、マリタイムバンク (MSB)、VN ダイレクト証券 (VND) などは 2~7% の上昇となった。

流動性は低下し、出来高は 5 億 9,250 万株、売買代金は 13.3 兆ドン (5 億 37 百万米ドル) で、ともに前日から 15% 程度減少した。

ロンベト証券によると、市場は下落したものの、VN 指数は直近の安値である 1,160 ポイントに徐々に近づいたので、もみ合いが続くと見ている。

しかし流動性は全体として活発ではないので、キャッシュフローは停滞し、反転の兆しは不透明となっている。VN 指数が 1,150~1,160 ポイントという下値を付けるには時間を要するだろうと、同社のアナリストは見ている。

同社では短期的には大型株が下支えすると見ているが、下値形成のシグナルが不透明なので、慎重姿勢を維持するべきと見ている。

ハノイ取引所では、HNX 指数は 3 日続落の後反発し、1.8%上昇の 269.39 ポイントで引けた。しかし流動性は乏しく出来高は 7,550 万株、売買代金は 1.4 兆ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。